

第24回 東海足と靴の研究会プログラム

日 時 : 令和3年10月9日(土) 午後3時15分~午後6時00分

形 式 : Web開催 (Zoom 配信)

当 番 幹 事 : 三重大学 整形外科 西村明展 先生

内 容 :

情報提供 「経皮吸収製剤について」

午後3時15分より

I. 一般演題

午後3時30分より

II. 特別講演

午後5時00分より

座長 三重大学大学院医学系研究科スポーツ整形外科学 講師 西村 明展 先生

「足関節周囲外傷・疾患における最新の治療戦略」

演者 秋田大学大学院医学系研究科医学専攻機能展開医学系
整形外科学講座 医学部講師 野坂 光司 先生

○単位申請費：日整会の単位を取得される方は、受講料 1,000 円を振込にてお支払い下さい。

・日本整形外科学会単位 日整会専門医資格認定単位 1 単位

【2】 外傷性疾患 (スポーツ障害を含む) 【12】 膝・足関節・足疾患

○申し込み方法：裏面をご参照ください。

○受講料納入期限：2021年10月6日(水)

※視聴時のお名前は「氏名(ご施設名)」をお願いします。お名前が確認できない場合は受講の確認ができません。

※単位取得のためにはカメラをONにし、開始から終了までのご視聴が必要です。講演中は受講状況を随時確認します。ZOOMの入室記録を単位申請資料とさせていただきます。

一般演題発表の先生へ

☆発表時間 1題 発表7分、討論3分

☆発表形式：Webにてプレゼンテーション

発表データは久光製薬(株)担当 MR まで令和3年9月24日(金)までにデータにてご提出お願い致します。

☆投稿論文は当日または1ヶ月以内に事務局へ提出して下さい。(投稿規定は別紙)

共催 東海足と靴の研究会
久光製薬株式会社

I. 一般演題①

(15時30分～16時15分)

座長 鈴鹿回生病院 整形外科 中空繁登

1) 距骨骨軟骨損傷に対するドリリング治療に影響する要因の検討

三重大学大学院医学系研究科運動器外科学

○寺田有輝、千賀佳幸

西村明展、湊藤啓広

2005年から2020年までに当科及び関連病院で距骨骨軟骨障害に対し、骨癒合を目指したドリリングでの骨髄刺激術を行い、術後6ヶ月以上フォロー可能であった13名15足(平均年齢12.7歳、男性5例、女性8例、平均経過観察期間34.8ヶ月)を対象とした。術後JSSFスコアにより成績良群、不良群に分け、重症度、骨癒合、骨端線、骨嚢胞、骨硬化、損傷部面積、手術までの待機時間などを検討項目として、成績不良因子について検討したので報告する。待機時間などを検討項目として、成績不良因子について検討したので報告する。

2) Bassett 靭帯障害の1例

名古屋市立大学 整形外科

○河 命守、若林健二郎、村上英樹

名古屋市立大学西部医療センター整形外科

坪井義晃

名古屋市立大学東部医療センター 整形外科

福田俊嗣

症例は初診時11歳の女兒。捻挫後の長引く右足関節痛を主訴に前医を受診、ATFL損傷を疑われ当科に初診となった。足関節前外側に著明な圧痛を認め、足関節背屈で疼痛があり、歩容は尖足歩行であった。超音波やMRI画像所見でATFL損傷はなく、痛みの局在や足関節背屈時の疼痛からBassett靭帯障害を疑い、関節鏡手術を施行。術中所見でBassett靭帯を確認し、切除を施行した。術後から疼痛は著明に改善し、経過は良好である。

3) アキレス腱の深部感染に対する治療経験

岐阜市民病院 整形外科

○梅村浩輔、宮本敬、山本孝敏

白井之尋、加藤皓己、奥村孝臣

岐阜市民病院 形成外科

大野義幸

アキレス腱の深部感染に対し病巣切除後に有茎または遊離穿通枝皮弁(複合組織弁)による再建を4例に施行した。症例1:アキレス腱断裂縫合後の慢性瘻孔(6年5か月経過)の50歳男性。症例2:内反足にともなう距骨下関節症に対する距骨下関節固定術後の褥創潰瘍(1か月経過)の61歳男性。症例3:アキレス腱部潰瘍に対し他医での複数回の治療(ステロイド注射、皮膚縫合など)後に難治化した(5か月経過)37歳女性。症例4:踵骨骨折術後感染でアキレス腱及び踵骨隆起の露出を認めた61歳男性。全例で皮弁は生着し感染は治癒した。

4) 距骨骨折後の偽関節に対し人工距骨置換術を施行した1例

成田記念病院 整形外科

○小川泰弘

症例は41歳男性。トラック荷台から転落し受傷。前医で足関節捻挫と診断されたが疼痛が改善せず、受傷半年後に前医を再診し距骨骨折が判明し紹介となった。CT、MRIで距骨骨折後偽関節と壊死を認めたため人工距骨置換術を施行した。足関節前方アプローチで距骨を除去しアルミナセラミック製人工距骨を挿入した。術後3週免荷と外固定後、荷重歩行を開始。術後4年経過しJSSFスコア100点と経過は良好である。

○休憩

(16時15分～16時20分)

I. 一般演題②

(16時20分～16時55分)

座長 三重大学 整形外科 千賀佳幸

5) 外反母趾手術後の偽関節に対して体外衝撃波療法施行後に骨癒合が得られた1例

浜松医大 整形外科

○花田充、松山幸弘

鈴木整形外科スポーツクリニック

鈴木大介

市立御前崎総合病院整形外科

鈴木基裕

体外衝撃波療法は本邦で2012年4月から難治性足底腱膜炎に対して保険診療の対象となったが、骨折後の偽関節に対しての有効性はそれ以前より報告されている。本症例は63歳、女性。外反母趾に対して中足骨基部骨切り術施行後に偽関節となり、術後1年で体外衝撃波療法を行った。0.25mJ/mm² (4Hz)で4000発の体外衝撃波療法3回と装具の使用で骨癒合が得られた症例について報告する。

6) 足部・足関節変形に対する6×6 Miter Frameの小経験

鈴鹿回生病院 整形外科

○辻大生、中空繁登、福田亜紀、加藤公

三重大学大学院医学研究科スポーツ整形外科

西村明展、湊藤啓広

三重大学大学院医学研究科運動器外科

千賀佳幸、西村明展、湊藤啓広

足部・足関節変形に対しTaylor Spatial Frame(TSF)の6×6 Miter Frame(6MF)を用いて手術加療を行った3例4足を経験したので報告する。症例は2016年以降に手術を行った足部・足関節変形の3例4足で、平均年齢は54.3歳、術後経過観察期間は平均39.3か月であった。JSSF足関節・後足部scaleは術前平均14.5点から術後平均63.5点に変化した。TSFは三次元の変形矯正に優れ、6MFは前中足部・後足部変形を漸次矯正できる有用な方法である。短期成績ではあるが我々が行った矯正術の成績は良好な結果であった。

7) イリザロフ創外固定器を用いた脛骨天蓋骨折の治療経験

伊勢赤十字病院

○伊東直也、中田健太、足立量平、奥野一真
西本和人、榊原紀彦、森川丞二、山川徹

紀南病院

加藤祥

従来、当院では脛骨天蓋骨折に対してプレート等を用いた内固定で治療を行ってきた。しかし、軟部組織への侵襲が大きくインプラント感染等で治療に難渋する症例をしばしば経験していた。そこで我々は、2017年よりイリザロフ創外固定器を導入し脛骨天蓋骨折の治療を行っている。今回、脛骨天蓋骨折に対してイリザロフ創外固定器を用いた3例3足（男性2足、女性1足、平均年齢50歳）の治療経験を報告する。

○休憩

(16時55分～17時00分)

II. 特別講演

(17時00分～18時00分)

座長 三重大学大学院医学系研究科 スポーツ整形外科学

講師 西村 明展 先生

「足関節周囲外傷・疾患における最新の治療戦略」

演者 秋田大学大学院医学系研究科医学専攻 機能展開医学系

整形外科学講座 医学部講師 野坂 光司 先生

日本整形外科学会教育研修認定単位1単位

【2】 外傷性疾患（スポーツ障害を含む） 【12】 膝・足関節・足疾患

特別講演時注意事項

※視聴時のお名前は「氏名(ご施設名)」でお願いします。お名前が確認できない場合は受講の確認ができません。

※単位取得のためにはカメラをONにし、開始から終了までのご視聴が必要です。講演中は受講状況を随時確認します。ZOOMの入室記録を単位申請資料とさせていただきます。

東海足と靴の研究会 役員

(令和3年現在)

顧問

秋山治彦	岐阜大学 教授
今釜史郎	名古屋大学 教授
須藤啓広	三重大学 教授
出家正隆	愛知医科大学 教授
松山幸弘	浜松医科大学 教授
村上英樹	名古屋市立大学 教授
藤田順之	藤田医科大学 教授

(敬称略 五十音順)

名誉会員

安藤謙一
柴田義守
高松浩一
服部義
本庄宏司
和田郁雄

幹事

○赤尾真知子	愛知医科大学
○浅井秀司	名古屋大学
加藤公	鈴鹿回生病院
◇鬼頭浩史	あいち小児保健医療総合センター
鈴木基裕	市立御前崎総合病院
土屋大志	徳重整形外科クリニック
○西村明展	三重大学
○花田充	浜松医科大学
◇早川和恵	藤田医科大学
○松本和	岐阜大学
◎若林健二郎	名古屋市立大学

(敬称略 五十音順 ◎代表幹事 ○常任幹事 □事務局担当幹事 ◇監事)

事務局

名古屋市立大学大学院整形外科分野

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

TEL (052) 853-8236

FAX (052) 842-0266

Web 参加事前登録方法

- ① ブラウザを起動し、下記 URL をご入力いただき登録ページにアクセスしてください。
の2次元バーコード（QRコード）からも登録いただけます。

<https://qr.paps.jp/97Go>

※ご登録いただきました個人情報は個人情報保護法、及び当社プライバシーポリシーを遵守し、
厳密に取り扱わせていただきます。

- ②ミーティング登録ページに必要事項を入力しご登録ください。

- ③ご登録後、指定のメールアドレスに URL が送信されます。

当日になりましたら【ミーティングに参加】よりご参加をお願いします。

※ ID・パスワードの入力を求められた場合は、下記をご入力ください。

ミーティングID 962 6387 4342 パスコード 283065



<p>ミーティング登録</p> <p>名</p> <p>姓</p> <p>メールアドレス</p> <p>都道府県</p> <p>QRコード、上記URLから こちらのサイトに繋がります。</p> <p>ご芳名</p>	<p>登録したメールアドレスに こちらのメールが届きます。</p> <p>第24回 東海足と靴の研究会 にご登録いただき、ありがとうございます。このミーティングについての情報は以下で確認できます。</p> <table border="1"><tr><td>第24回 東海足と靴の研究会</td><td></td></tr><tr><td>日時</td><td>2021年10月9日 03:00 PM 大阪、札幌、東京</td></tr><tr><td>ミーティングID</td><td>962 6387 4342</td></tr><tr><td>パスワード</td><td>283065</td></tr></table> <p>質問は以下へ送信してください: Takahiro_Fukushima@hisamitsu.co.jp. 登録はいつでもキャンセルできます。</p> <p>Zoomに参加する方法</p> <p>PC、Mac、iPad、またはAndroidから参加する</p> <p>ミーティングに参加</p>	第24回 東海足と靴の研究会		日時	2021年10月9日 03:00 PM 大阪、札幌、東京	ミーティングID	962 6387 4342	パスワード	283065
第24回 東海足と靴の研究会									
日時	2021年10月9日 03:00 PM 大阪、札幌、東京								
ミーティングID	962 6387 4342								
パスワード	283065								

参加費・受講料の納入について

- ◆受講料：1,000 円(日本整形外科医会単位取得希望の方のみ)
- ◆参加費：会員の方 2,000 円（年会費）、一般参加の方 1,000 円（参加費）
- ◆振込先口座
ゆうちょ銀行 店名 二一八 普通 7255675
トウカイアシトクツノケンキュウカイ
東海足と靴の研究会
- ◆振込期日：2021年10月6日(水)
- ◆振込名義は受講者ご本人氏名の入力をお願いいたします。
- ◆理由の如何を問わずご入金のお返しには応じかねます。
- ◆領収書は発行いたしませんので振込の記録を保管し活用ください。
- ◆振込手数料は自己負担とさせていただきます旨をご了承ください。